



第13回 がんサバイバーシップ オープンセミナー

～特別企画～ 共催 国立がん研究センターがん対策情報センターがんサバイバーシップ支援部

北里大学大学院医療系研究科 文部科学省 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン

メインテーマ

英語講演
逐次通訳あり

Cancer survivorship: Optimizing health care, health, function, and well-being

がんサバイバーシップに関する世界の趨勢～最善のケアと健康を実現するために

参加
無料

築地キャンパス 新研究棟 1階 大会議室

7月23日(月) 午後6時～7時半 (午後5時半～受付開始)

定員
300名



Michael Feuerstein 博士
Journal of Cancer Survivorship, Chief Editor
Journal of Occupational Rehabilitation, Chief Editor

Feuerstein 博士は臨床心理学を専門とし、McGill University, Georgetown University, Uniformed Services University of the Health Sciences (2017年に退官)などで教育・臨床・研究に従事されました。ご自身の脳腫瘍体験からがんサバイバーシップ研究に取り組み、この領域の第一人者として Handbook of Cancer Survivorship (2007, 2018 秋に2版出版予定), Work and Cancer Survivors(2009)等の書籍も編集されています。今回は、がんサバイバーシップ研究の世界的な趨勢についてお話し頂きます。

2018
7.23
月



司会進行役
高橋 都

★web 事前申込制★
(フォーム入力で登録申込)

<https://www.ncc.go.jp>

がん対策情報センター → 各部の紹介

→ がんサバイバーシップ支援部

→ 更新情報 にある開催案内の

詳細はこちらを **CLICK**

国立がん研究センターの 広報活動 にある
セミナー・研修・イベント にもリンクがあります

www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/05survivor/event/20180723.html



国立研究開発法人
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

<事務局>がん対策情報センター がんサバイバーシップ支援部

メール: cis-sr-cafe@ncc.go.jp FAX: 03-3547-6627